

シャワーパネル アクアタワー

BF-WB11T型

左記の品番は代表品番です。品番の特定は商品の品番ラベルをご確認ください。品番ラベルの位置は「アフターサービスについて」をご覧ください。

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。



この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡ください。

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡ください。
また、定期的な交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

■ 各部の名称	1
■ 安全上のご注意	2
■ ご使用前に	6
■ ご使用方法	9
■ 凍結の恐れがある場合	16
■ 日常のお手入れ	18
■ 定期的なお手入れ	21
■ 定期的な部品交換のお願い	22
■ 修理を依頼される前に	23
■ アフターサービスについて	26

保証書 裏表紙

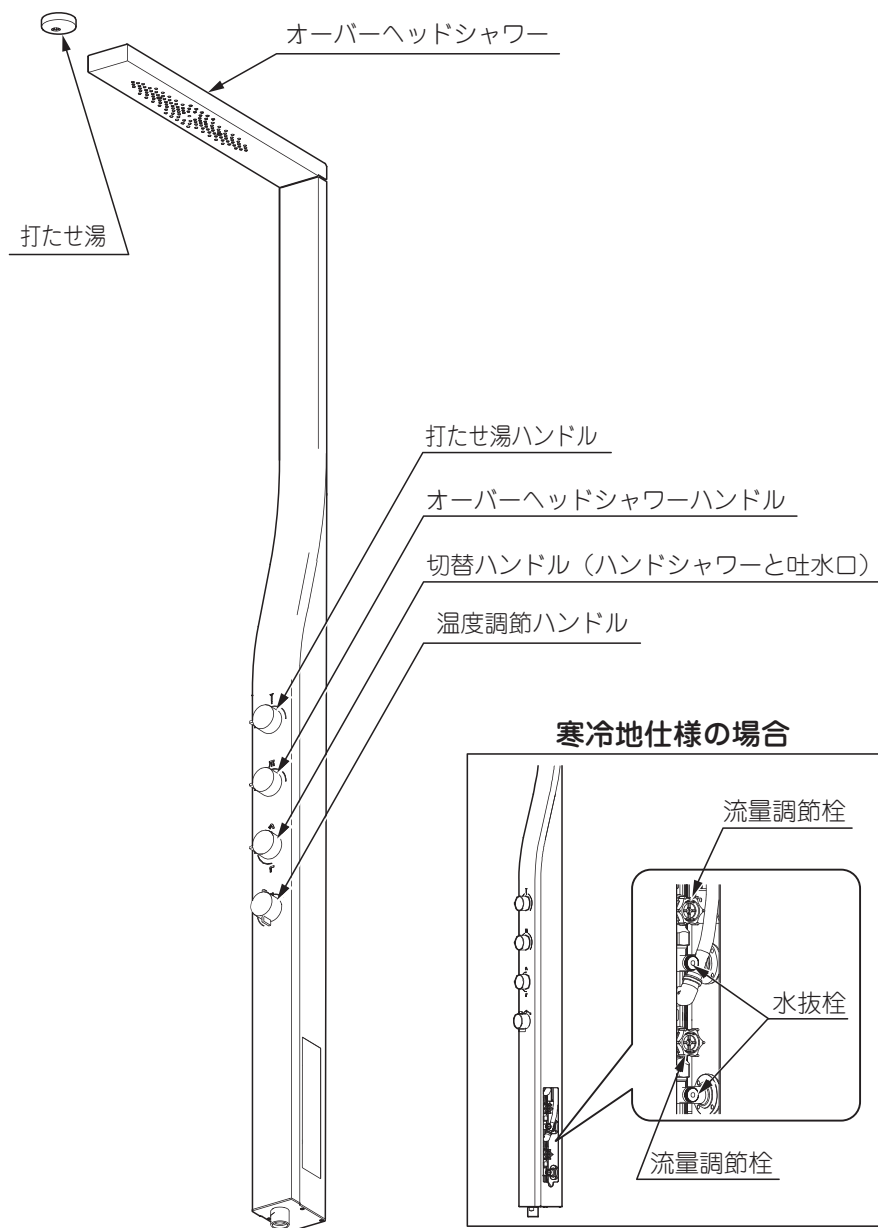
はじめに

つかいかた

お手入れ

こんなときは

各部の名称



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

用語および記号の説明

警告 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



…… 「注意しなさい!」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)



(禁止)

…… 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)



(分解禁止)

…… 「分解してはいけません!」



(禁止)

…… 「指示した場所には触れてはいけません!」



(指示)


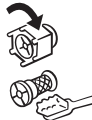





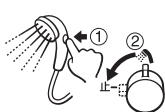
…… 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

⚠ 警告：ヤケドをしないために








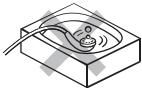




 (禁止)	小さいお子さまだけのご使用は避けてください。 ※ ヤケドやケガをする恐れがあります。	
 (禁止)	給湯器の給湯温度設定は60℃より高温で使用しないでください。 ※ 水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。 サーマスタット付水栓の場合、十分な機能を発揮させるため給湯器の給湯温度は50℃以上をおすすめします。	
 (禁止)	シャワーには熱湯(45℃より高温)を通さないでください。 ※ シャワーヘッドが破損して、ヤケドやケガをする恐れがあります。 安全のため、シャワーは45℃以下のご使用をおすすめします。	
 (指示)	温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめた後、吐出してください。 ※ 高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。	
 (禁止)	高温の湯をお使いのときは、吐出口が高温になっています。 直接、触れないようにしてください。 ※ ヤケドをする恐れがあります。	
 (指示)	給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。 ※ 正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。	給水圧力 ≥ 給湯圧力 
 (指示)	ご使用時は水側から吐水してください。通水後、ゆっくり高温側へ調節し、必ず素手で適温であることを確かめてください。 ※ 高温の湯が出てヤケドする恐れがあります。またシャワーと吐水口を切り替えたときも、湯の温度が高くなる場合がありますので、ご注意ください。	
 (指示)	定期的に配管の漏水やガタツキがないか確認してください。 ※ 部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財など濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
 (指示)	温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、ゆっくり回してください。 ※ ヤケドをする恐れがあります。	
 (指示)	高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないよう、温度調節ハンドルの目盛を『40』（または、適温の目安位置）以下に戻し、しばらく水を流してください。 ※ 次に使用する際に、水栓内に残っている高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。	
 (指示)	本製品にはハンドルが4つあります。お使いになる前にとどのハンドルか確認してください。 ※ 間違えると意図しない箇所から吐水され、不意に水をかぶったり、ヤケドをする恐れがあります。	

お風呂

⚠ 警告：ヤケドをしないために





 (指示)	ストレーナーの掃除をする際は、ストレーナーを緩める前に、必ず先に流量調節栓を閉めてから行ってください。(P.8参照) ※ 湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
 (禁止)	スイッチ付シャワーの場合、スイッチシャワーの吐水スイッチを誤って押さないでください。 ※ 急に高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。	
 (禁止)	スイッチ付シャワーの場合、スイッチシャワーを乱暴に床に置いたり、落としたりしないでください。 ※ 吐水スイッチが押され、急に高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。	
 (指示)	スイッチ付シャワーをご使用の前には、吐水スイッチが押されていることを確認してから切替ハンドルをシャワー側に回してください。 ※ 一時止水スイッチを押した状態でもシャワー側に回すと、一瞬シャワーが出るためヤケドをする恐れがあります。	

⚠ 注意：正しくお使いいただくために





 (禁止)	シャワーヘッドを落としたり、ぶつけたりしないでください。 ※ キズがつき、ケガをする恐れがあります。 「メッキタイプの場合」 シャワーヘッドにキズが生じた場合は、LIXIL 修理受付センターに修理、交換を依頼してください。 有料作業 にて承ります。(P.26参照)。 ※ 機能部品が衝撃で破損し、漏水や故障の原因になります。 ※ タイルに割れ、欠け、キズが生じ、ケガをする恐れがあります。	
 (禁止)	オーバーヘッドシャワーや水栓本体に、ぶら下がったり登ったりしないでください。 ※ 破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
 (禁止)	衝撃をあてえたり、もたれかかったりしないでください。 ※ 破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
 (禁止)	シャワーヘッドを浴槽・洗面器等に浸さないでください。 ※ 一度吐水された湯水等が一次側配管に逆流する可能性があります。	
 (分解禁止)	修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ 故障・破損の恐れがあります。	
 (指示)	切替ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、お止めください。 ※ 漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	

おまじ

⚠ 注意：正しくお使いいただくために

 (指示)	ご使用後は吐水スイッチを押した状態で、水栓本体のハンドルで止水してください。	
 (指示)	日頃から、ときどき温度調節ハンドルを回してください。 ※ 温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると、機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれる恐れがあります。	

⚠ 注意：凍結防止のために

 (禁止)	【寒冷地仕様の場合】 水抜栓は水抜以外の目的で開けないでください。 ※ 水抜栓を不意に開けると高温の湯が吐出し、ヤケドをしたり、湯水がふき出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
 (指示)	【一般地仕様の場合】凍結が予想される場合は、凍結予防の措置を行ってください。（P.16参照） 【寒冷地仕様の場合】配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を行ってください。（P.17参照） ※ 凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。	

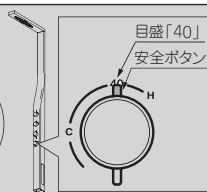
ご使用前に

給湯器と組み合わせてご使用の場合

サーモスタート混合栓は、湯と水を混合して吐水温度を調整しています。

このため、**給湯器の設定温度より、吐水温度は低く**なります。

(例)

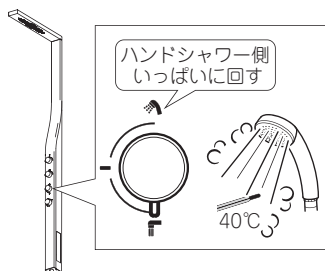
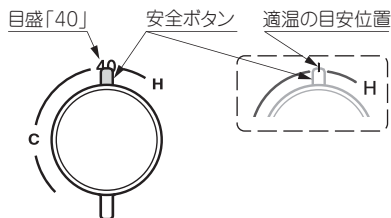


- 給湯器の設定温度は、希望の吐水温度より高めに設定してください。
※ 給湯温度は **50°C以上60°C以下** の設定をおすすめします。
ただし、ヤケド防止のため、60°Cを超えない設定にしてください。
- 給湯温度を変更すると、温調ハンドルの表示どおりの湯が出なくなる場合があります。
※ 温度調節ハンドルの再調整をしてください。
- 流量を絞って使用すると給湯器が作動しない場合があります。
※ 給湯器の取扱説明書にて最低作動流量をご確認の上、ご使用ください。

吐水温度の確認

温度調節ハンドルは出荷時に設定していますが、使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示どおりの温度が出ないことがあります。吐水温度が表示どおりになっているか次の手順で確認してください。

1. 温度調節ハンドルの安全ボタン（温度指示マーク）を目盛「40」（または、適温の目安位置）に合わせます。
2. 切替ハンドルを上側「」（シャワー）」に回して全開にし、吐水温度を確認します。

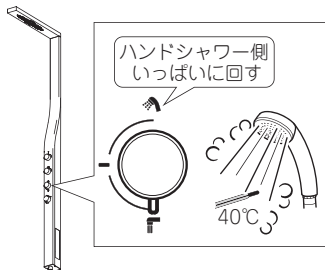


吐水温度が	適温（約40°C）である	そのままご使用いただけます。
	適温（約40°C）に合っていない	P.7の「温度調節ハンドルの位置調整」を参照し再調整をしてください。 LIXIL 修理受付センターにおいてもハンドル調整を承りますが、保証期間内でも 有料作業 となります。

温度調節ハンドルの位置調整

吐水温度と温度調節ハンドルの表示が合っていない場合は、次の手順でハンドルの位置調整をしてください。LIXIL修理受付センターにおいてもハンドル調整を承りますが、保証期間内でも**有料作業**となります。

1. 切替ハンドルを上側「 (シャワー)」に回して全開にし、目盛に関係なく吐水温度が約40℃になるように温度調節ハンドルを回します。

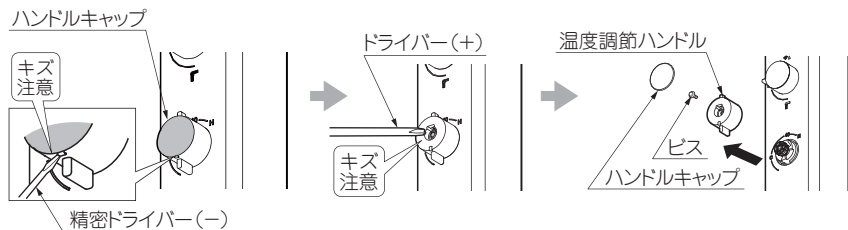


ポイント

【高温の湯を出す場合】

温度調節ハンドルには、安全ボタンがついており、目盛「40」（または、適温の目安位置）を少し過ぎたところで一度ロックされます。さらに高温側に回したいときは、安全ボタンを押しながら回します。

2. 吐水温度が適温（約40℃）になったところで止水し、温度調節ハンドルが回らないように注意して、ハンドルキャップ、ビス、温度調節ハンドルの順に取り外します。



注意

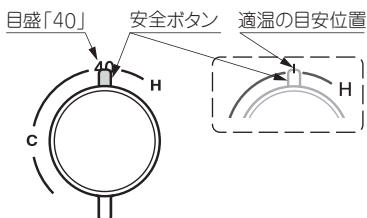
ハンドルキャップを取り外す時は、慎重に行ってください。

※ 無理に取り外そうとすると、キズ、破損の原因になります。

ポイント

ビスを外すと温度調節ハンドルは手で引っ張るだけで外れます。

3. 取り外した温度調節ハンドルの安全ボタン（温度指示マーク）が目盛「40」（または、適温の目安位置）に合うように温度調節ハンドルをはめて、ビス、ハンドルキャップを取り付けます。



注意

取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛「40」（または、適温の目安位置）で吐水温度が約40℃になっているかを確認してください。

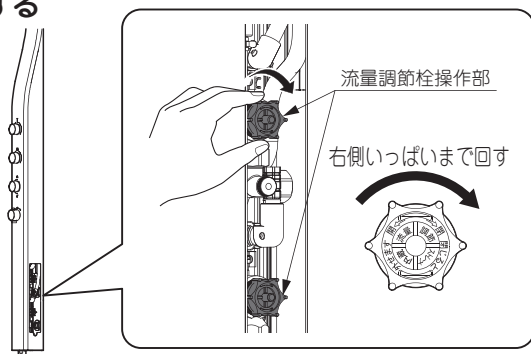
※ 高温の湯が出て、ヤケドの恐れがあります。

流量の調節

流量が多い場合は、湯側・水側の流量調節栓をそれぞれ次の手順で調整してください。

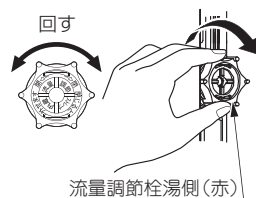
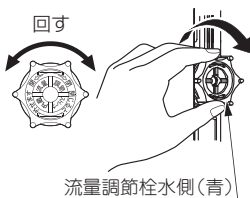
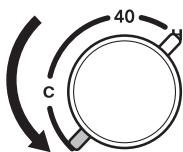
手順1 流量調節栓を調整する

点検口のフタを外し(P.15参照)、
流量調節栓を右いっぱいまで
回します。

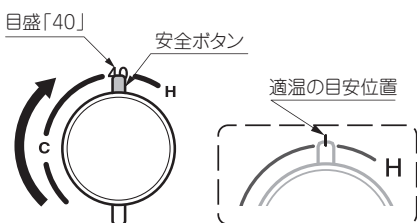
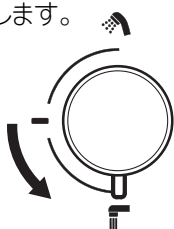


手順2 流量を調整する

1. 温度調節ハンドルを
合わせます。
「C(水)」側いっぱい
に回します。
3. 水側(青)の流量調節栓
を調節します。
5. 湯側(赤)の流量調節栓
を調節します。



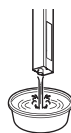
2. 切替ハンドルを下側
「F(吐水口)」まで
回し、全開で吐水
します。
4. 温度調節ハンドルの
安全ボタン(温度指示マーク)を目盛「40」
(または、適温の目安位置)に合わせます。



ポイント

最適な流量とは…

洗面器(容量3L)をいっぱいにするのに、約10秒弱が目安です。(=20L/分程度)
※ シャワー流量も快適になっているか、あわせてご確認ください。

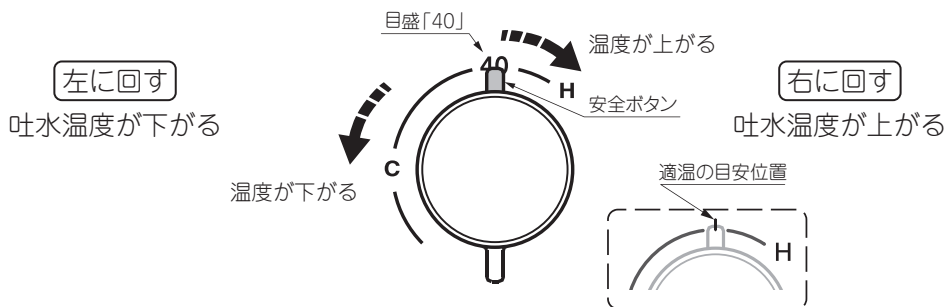


水側(青)と湯側(赤)の流量の差が大きい場合、吐水口とシャワーの吐水温度に
差が生じる場合があります。

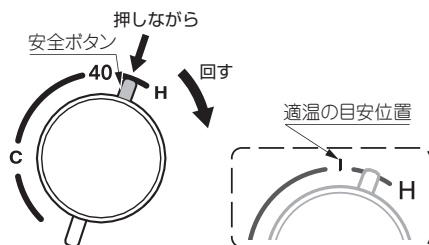
ご使用方法

温度調節ハンドルの使い方

温度調節ハンドルを回すと、吐水温度が調整できます。



温度調節ハンドルには、安全ボタン（温度指示マーク）がついており、目盛「40」（または、適温の目安位置）を少し過ぎたところで一度ロックされます。さらに高温側に回したいときは、安全ボタンを押しながら回します。



注意

- 高温のお湯を使用した後は、必ず温度調節ハンドルを目盛「40」（または、適温の目安位置）以下に戻してください。
※ ヤケドをする恐れがあります。
- 吐水温度はシャワー側と吐水口側で温度差がある場合があります。

ポイント

【いつも快適にご使用していただくために】

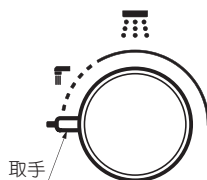
給水温度は季節によって一定ではありません。
給水温度が変化することで温度のバランスが崩れやすくなるため、ハンドルの温度表示と吐水温度が合わなくなることがあります。

一年を通して快適にご使用いただくために、給湯器の設定温度を「夏は低め」「冬は高め」に設定することをおすすめします。

オーバーヘッドシャワーハンドルの使い方

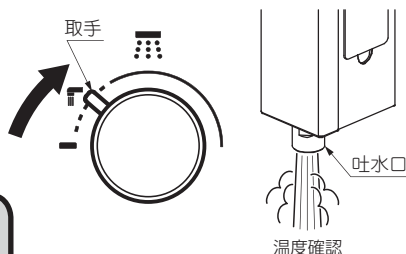
水(湯)をとめる

オーバーヘッドシャワーハンドルの取手を
止水表示「■」に合わせます。



水(湯)の温度確認

オーバーヘッドシャワーハンドルの取手を
温度確認「☰」に合わせ、吐水温度を
確認します。
ハンドルの取手が**温度確認「☰」**の位置に
あるときは、吐水口から吐水されます。



注意 ご使用前には、必ず**温度確認「☰」**の
位置で吐水温度が適温であることを
確認してください。

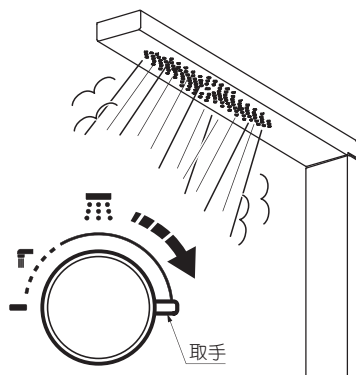
※ 急に冷たい水が出たり、高温の湯が
出てヤケドする恐れがあります。

ポイント

温度確認時に、オーバーヘッドシャワー・打たせ湯から水が出ることがあります。
残水を排出させているため故障ではありません。

水(湯)を出す

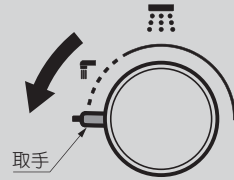
オーバーヘッドシャワーハンドルの取手を
右側「☰」に回すとオーバーヘッドシャワーから
吐水されます。
右いっぱいまで回すと流量が最大になります。





注意

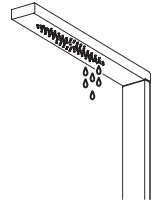
- 使用後は、オーバーヘッドシャワーハンドルを左いっぱいまで回し、必ず「**0**」に戻してください。
※ 「**0**」に戻さないと、吐水口から水が出っぱなしになります。



- 各シャワーを同時に使用しないでください。
※ 流量が不足して、満足に吐水されなくなります。

ポイント

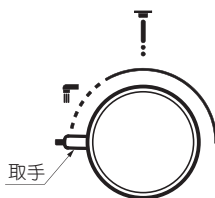
- 「**温度確認**」をした後でも、出始めに一瞬だけ冷たい水が出ます。身体に直接浴びないようにハンドルをゆっくりと回してください。
- シャワーを止めた後でも、少しの間シャワーから水が出ます。ハンドルの戻す速度、振動、気圧の変動などによって水が出ることがあります。シャワー内部の残留水を排出させているため故障ではありません。
- シャワーを散水しても、シャワーが出ない穴があります。空気を含んだ散水をするため、吸気穴を搭載しています。故障ではありません。



打たせ湯のハンドルの使い方

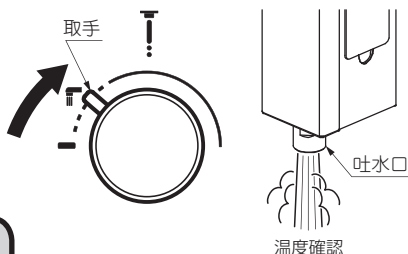
水(湯)をとめる

打たせ湯ハンドルの取手を止水表示「■」に合わせます。



水(湯)の温度確認

打たせ湯ハンドルの取手を温度確認「☷」に合わせ、吐水温度を確認します。
ハンドルの取手が温度確認「☷」の位置にあるときは、吐水口から吐水されます。



注意

ご使用前には、必ず温度確認「☷」の位置で吐水温度が適温であることを確認してください。

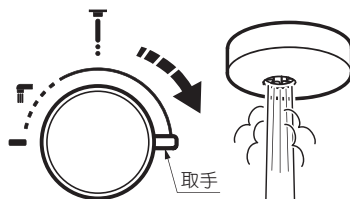
※ 急に冷たい水が出たり、高温の湯が出てヤケドする恐れがあります。

ポイント

温度確認時に、オーバーヘッドシャワー・打たせ湯から水が出ることがあります。残水を排出させているためで故障ではありません。

水(湯)を出す

打たせ湯ハンドルの取手を右側「☷」に回すと打たせ湯から吐水されます。
右いっぱいまで回すと流量が最大になります。



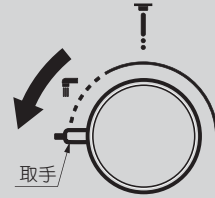
ポイント

「温度確認」をした後でも、出始めに一瞬だけ冷たい水が出ます。身体に直接浴びないようにハンドルをゆっくりと回してください。



注意

- 使用後は、打たせ湯ハンドルを左いっぱいまで回し、必ず「**●**」に戻してください。
※ 「**●**」に戻さないと、吐水口から水が出っぱなしになります。

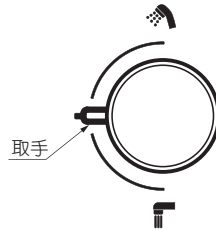


- 打たせ湯ハンドルはゆっくり開けてください。
※ 急に開けると打たせ湯の刺激が強くなりすぎる恐れがあります。
- 打たせ湯は身体に浴びてお使いください。
※ 身体に浴びずに落ちたお湯の衝撃が騒音の原因となる恐れがあります。
- 各シャワーを同時に使用しないでください。
※ 流量が不足して、満身に吐水されなくなります。

切替ハンドル(ハンドシャワーと吐水口)の使い方

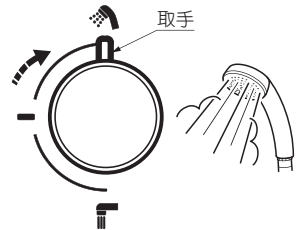
水(湯)をとめる

切替ハンドルの取手を止水表示「■」に合わせます。

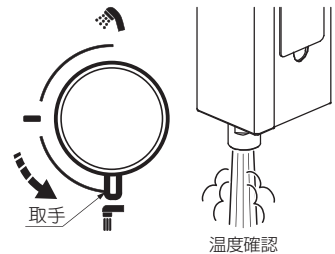


水(湯)を出す

シャワー：切替ハンドルの取手を上側「☔(シャワー)」に回します。上いっぱいまで回すと流量が最大になります。

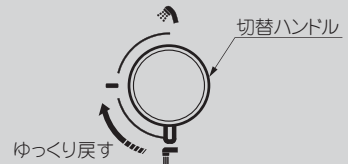


吐水口：切替ハンドルの取手を下側「■(吐水口)」に回します。下いっぱいまで回すと流量が最大になります。



注意

- 切替ハンドルはゆっくり操作してください。流量を多く使用しているとき、急に止水すると「ドン」と大きな音が発生します。
※ 配管の損傷や水漏れの原因となります。



- ご使用前に、切替ハンドルでシャワー・吐水口どちら側から吐水されるか確認してください。
※ 不意に水をかぶったり、ヤケドの恐れがあります。

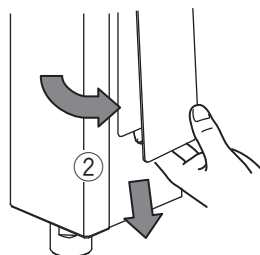
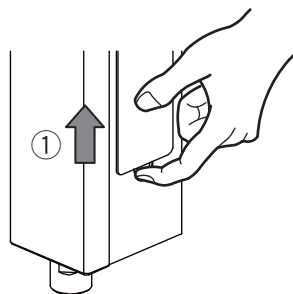
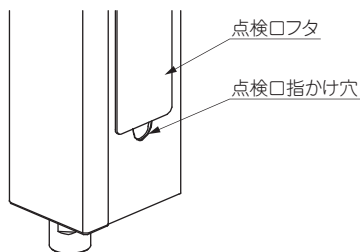
- スイッチシャワーの場合は、シャワーヘッドの吐水スイッチが押されていることを確認した後、切替ハンドルを操作して下さい。
※ 一時止水スイッチを押した状態で切替ハンドルを操作すると、ハンドルが重くなり故障の原因となります。

ポイント

- シャワーヘッドに同梱の「取扱説明書」がある場合は、あわせてご確認ください。

点検口フタの取り外し方

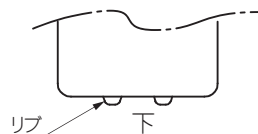
1. ①点検口フタの下にある指をかける穴に、指を入れてフタを上へスライドさせる。
②フタにかけた指を手前に引きフタを下側に取り外す。



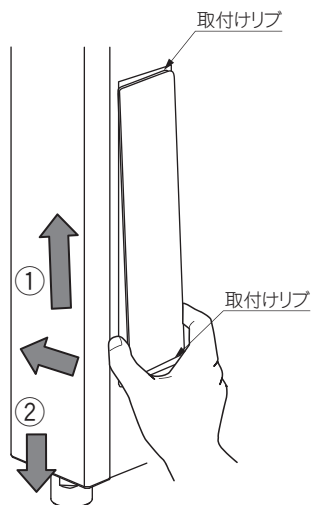
注意 点検口フタは、必ず片方の手を添えて取り付けてください。
※ 手が滑ってフタを落としたり、指を挟んでケガをする恐れがあります。

点検口フタの取り付け方

1. ①点検口フタの上部の裏側にある取付けリブを開口部ふちに、かける。
②フタの下部の取付けリブを開口部ふちに置いて、自重で下側にフタを、下へスライドして取り付ける。



※点検口フタには上下があるため、上下の取付けを間違えると、取付けることができません。



凍結の恐れがある場合

一般地仕様の水栓をお使いのお客様も必ずお読みください。

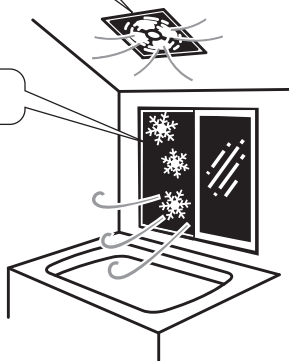
暖かい地域でも水栓や配管が凍結すると、部品が破損し水漏れが発生する恐れがあります。凍結による破損は、保証期間内でも**有料作業**となります。

凍結が予想される場合は、浴室内が氷点下にならないように下記の凍結予防を行ってください。

(凍結予防の例)

換気扇を点けたままにしない

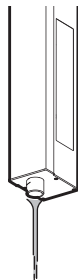
窓を開けたままにしない



一般地仕様の場合









氷点下になる恐れがある場合は下記の対策で凍結を防止できる場合があります。

- 水栓から少量の水を流したままにする
- 配管部などに保温材を巻く

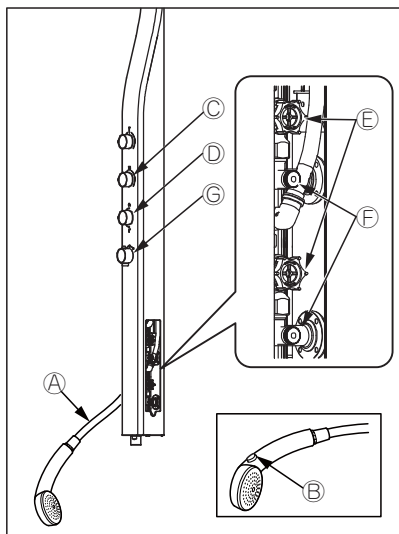


寒冷地仕様の場合


水栓内の水を抜き、凍結を予防する方法です。また、長期間使用しないときも、必ず下記の水抜き操作を行ってください。

1. シャワーヘッド(A)をフックにかける。
〔スイッチシャワーの場合：吐水スイッチ(B)を押しておく。〕
2. オーバーヘッドシャワーハンドル(C)を下記の順に操作する。
 - ①温度確認「」に回し、吐水口から吐水する。
 - ②止水表示「」に戻し、止水する。
3. 切替ハンドル(D)を下記の順に操作する。
 - ①上側「 (シャワー)」に回し、シャワーヘッド(A)から水を出す。
 - ②止水表示「」に戻し、止水する。
4. 配管の水抜き栓を操作する。
 - ①切替ハンドル(D)を下側「 (吐水口)」に回す。
 - ②点検口フタを外す。(P.15参照)
 - ③逆止弁解放ボタン(E)(2ヶ所)を1分以上押す。
 - ④切替ハンドル(D)を上側「 (シャワー)」に回す。
 - ⑤本体の水抜き栓(F)(2ヶ所)を開ける。
 - ⑥温度調節ハンドル(C)を数回「C」側から「H」側まで回す。
 - ⑦シャワーヘッド(A)を振って水を切り、床に静かに置く。
5. オーバーヘッドシャワーハンドル(C)を下記の順に操作する。
 - ①温度確認「」まで回す。
 - ②止水表示「」に戻す。

寒冷地仕様の場合



通水再開前に

1. 水抜き栓(F)を閉じる。
2. 切替ハンドル(D)を止水表示「」に戻す。
3. 温度表示ハンドル(C)を「40」以下に戻す。

日常のお手入れ

布などを使用したお手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは、水ぶきし、最後にからぶきしてください。



注意

製品の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。

- クレンザー、ポリバスクリーナー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- 酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- 研磨粒子入りスポンジ、ナイロンたわし、ブラシ等
- シンナー、ベンジン等の溶剤

※ ヒビ割れや変色の原因となります。

まちがって使用した場合は、すぐに水洗いをしてください。



- メラミンフォーム（スポンジ）をご使用されるときは、あまりきつくこすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。
また、水栓の印字部分は、表示が消える恐れがあるので、使用しないでください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤で洗浄した場合は、タイルおよび水栓を十分水洗いしてください。
- 着色されたうがい薬などが製品に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。
※ 薬品等が付着したまま放置すると製品表面の変色の原因となります。

ストレーナーの掃除

吐水量が少なくなった場合はストレーナーのゴミ詰まりが考えられます。
ときどき次の手順で掃除を行ってください。



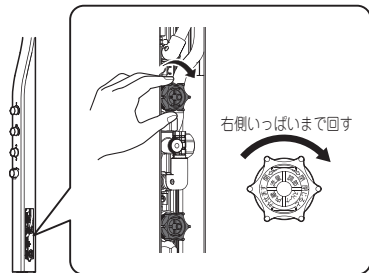
注意

ストレーナーの掃除をする前に必ず流量調節栓を閉めてください。

- ※ 閉じずに作業を行うと高温の湯が吐出しヤケドをしたり、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。


1. 点検口のフタを外します。（P.15参照）

2. 湯側・水側の流量調節栓を閉じます。



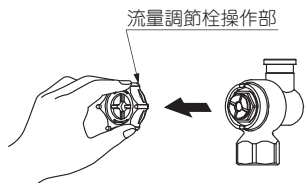
ポイント

- 湯側・水側の両方行うこと。
- 右側いっぱいまで回すこと。
- 閉じるときに、どの程度回転させたか覚えておくと清掃後の開度調整が容易になります。

3. 切替ハンドルを下側「 (吐水口)」に回し、残水を排出します。



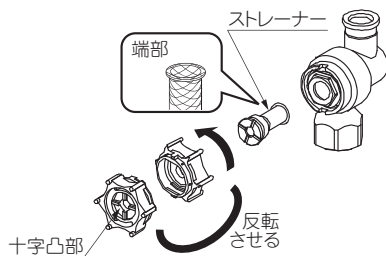
4. 流量調節栓の操作部を取り外します。



ポイント

操作部は流量調節栓を完全に閉じた状態でないと、取り外し、取り付けできません。

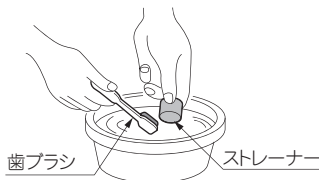
5. 取り外した操作部を使用し、ストレーナーを取り外します。



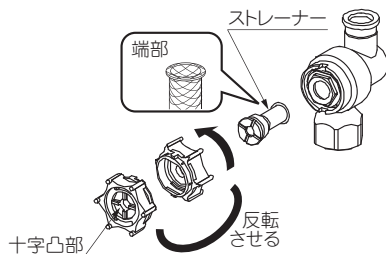
ポイント

操作部を反転させ、十字凸部をストレーナーの十字溝にはめ、左に回して外してください。

6. ストレーナーに付いたゴミや汚れを歯ブラシ等を使用し水洗いします。



7. ストレーナーと操作部を取り付け、流量調節栓を元の位置まで開けます。



8. 点検口のフタを取り付けます。(P.15参照)

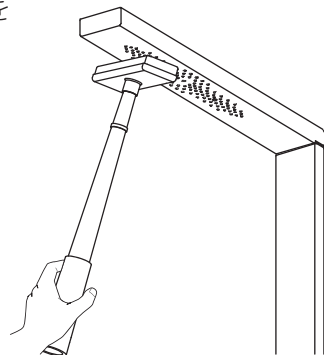
オーバーヘッドシャワー散水板の掃除

オーバーヘッドシャワーの散水板の散水穴突起部をスポンジでこすって、目詰まりを取ります。



強くこすらないでください。

注意 ※ ゴムが切れることがあります。

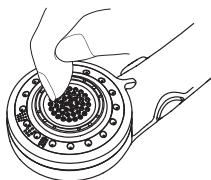


散水板の清掃

散水板部の汚れや目詰まりは流量や水切れ性の低下を招く原因になります。いつまでも快適にお使いいただくために、ときどき以下の要領でお手入れをしてください。

ゴム製の散水板の清掃

ゴムの先端を指でこすって、目詰まりを取ります。

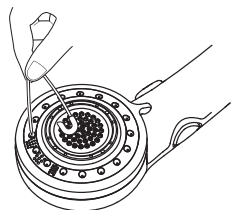


強く引っ張らないでください。

注意 ※ ゴムが切れることがあります。

樹脂製の散水板の清掃

シャワーの穴を安全ピンなどで刺して、目詰まりを取ります。



安全ピンなどで刺す



注意

- 安全ピンは無理に奥まで挿入しないでください。
※ 中の部品が破損する恐れがあります。
- 強い力で刺さないでください。
※ 散水穴が変形する恐れがあります。
※ 中の部品が破損する恐れがあります。
- メッキ表面を刺さないでください。
※ メッキ表面にキズがつく恐れがあります。

定期的なお手入れ

配管まわりの水漏れ点検（年2回以上）

- 水回りの水漏れがないか点検してください。
- ※ 劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり水漏れして家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

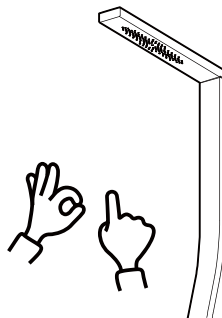
水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め、お求めの取付店・販売店または、LIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



水栓本体のガタツキ確認（年2回以上）

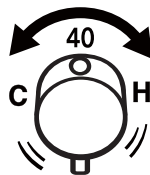
- 本体部のガタツキがないかを確認してください。
- ※ 配管に負担がかかり、水漏れの原因になります。

本体部にガタツキがある場合は、お求めの取付店・販売店または、LIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



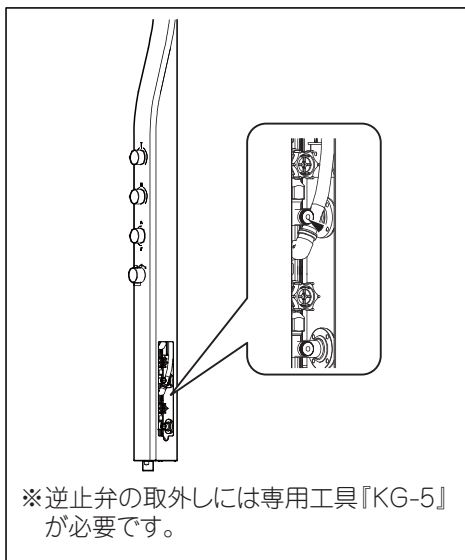
温度調節ハンドルの操作性確認（月1回）

- 温度調節ハンドルをときどき回してください。
- ※ 温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれる恐れがあります。



定期的な部品交換のお願い

ストレーナー付逆止弁の交換



〈定期的な点検・部品交換のめやす〉

使用年

/ 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 11 / 12

お客様による日常のお手入れ・点検

消耗部品の交換

摩耗劣化部品の交換 (逆止弁は3~5年)

買換え
ご検討

お手入れ

修理を依頼される前に


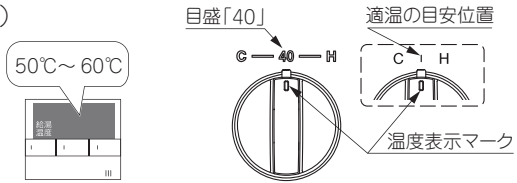
修理を依頼される前に、下記項目をご確認ください。

下表を確認しても直らない場合は、お求めの取付店・販売店、またはLIXIL修理受付センターへご依頼ください。(→26ページ)

- 温度が安定しない、温度調節がうまくできない(→23ページ)
- 流量が少ない(→24ページ)
- 水が止まらない(→24ページ)
- 接続部から水漏れする(→25ページ)
- 水栓本体から音がする(→25ページ)
- シャワーヘッドから音がする(→25ページ)

※ シャワーヘッドや給湯器の説明書もあわせてご確認ください。

温度が安定しない、温度調節がうまくできない

<p>しばらく流しても改善しませんか？</p>	<p>給湯器と水栓金具の配管距離が遠い場合は、お湯が出てくるまで時間がかかります。 温度が安定するまでお湯を出し続けてから使用してください。</p>	
<p>他の場所(トイレ、キッチン、洗面など)で同時に水栓を使用していませんか？</p>	<p>配管内の水圧が変化することで、温度が不安定になることがあります。 他の場所の水栓と同時に使用しないようにしてください。</p>	
<p>給湯器の温度は正しく設定されていますか？</p>	<p>サーモスタット混合栓は、湯水を混合して吐水温度を調整しています。 給湯温度は 50℃以上60℃以下 に設定してください。 (→6ページ)</p>	
<p>水側と湯側の流量調節栓を適切に絞っていますか？</p>	<p>給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。 ※ 正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。 ただし、水側と湯側で差が大きい場合、吐水口とシャワーの吐水温度に差が生じる場合があります。</p>	

流量が少ない

<p>流量調節部は十分に開いていますか？</p>	<p>湯側・水側の流量調節栓が十分に開いていることを確認してください。(→8ページ)</p>
<p>ストレーナーやシャワー散水板にゴミが詰まっていますか？</p>	<p>ストレーナー汚れや目詰まりを取り除いてください。(20ページ、シャワーヘッド取扱説明書)</p>
<p>【スイッチシャワーの場合】 止水バルブのフィルターにゴミが詰まっていますか？</p>	<p>水栓本体から止水バルブを取り外し、接続部にあるフィルターの掃除を行ってください。</p> <div data-bbox="851 311 1024 462" style="text-align: right;"> </div>
<p>給湯器の温度は正しく設定されていますか？</p>	<p>サーモスタット混合栓は、湯水を混合して吐水温度を調整しています。 給湯温度は50℃以上60℃以下に設定してください。(→6ページ)</p>

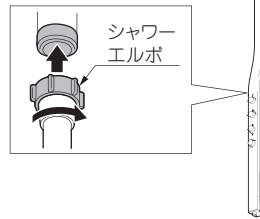
水が止まらない

<p>シャワーから水が漏れ続けているかを確認してください。</p> <div data-bbox="196 790 274 965" style="text-align: center;"> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ● しばらく経って水が止まる場合 シャワーヘッド内の残留水が排出されるため、故障ではありません。 <div data-bbox="403 790 1041 1005" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ポイント</p> <p>角度調整式のシャワーフックをご使用の場合、角度によっては、水を止めたときにシャワーから水垂れしやすい角度があります。その場合は、角度を調整してご使用ください。</p> <div data-bbox="879 805 1024 997" style="text-align: right;"> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 水が漏れ続けている場合 切替弁の故障が考えられます。取付店・販売店、またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。(→26ページ)
<p>切替ハンドルが止水位置に合っていますか？</p>	<p>切替ハンドルの取手が止水表示「」と合っているかを確認、合っていないときは、止水位置に合わせてください。</p> <div data-bbox="744 1220 890 1428" style="text-align: center;"> </div>

接続部から水漏れする

シャワーホース接続部から水が漏れる

シャワーヘッドとホース、ホースとシャワーエルボを手締めてしっかりと固定します。



水栓本体から音がする

切替ハンドルを急閉止していませんか？

ウォーターハンマー現象が考えられます。流量が多いときに急に止水すると「ドン」と大きな音が発生します。流量調節栓で流量を少なくするか、ゆっくりとハンドルを閉めてください。

流量調節栓を適切に絞っていますか？

水圧が高いことにより発生する流水音が考えられます。流量を絞ることで流水音を低減することができます。(→8ページ)

オーバーヘッドシャワーを使用しているときに、打たせ湯のハンドルが「温度確認」の位置になっていませんか？

水栓の機能部が動く音で故障ではありません。打たせ湯のハンドルを止水表示「**■**」に合わせてからオーバーヘッドシャワーを使用してください。

シャワーヘッドから音がする

シャワーから回転音がする。

水の勢いで内部部品が回転しているために発生する音であり、故障ではありません。

アフターサービスについて

修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項(P.23)を参照して確認してください。

⚠ 注意

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造はしないでください。
※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。



保証書と保証期間

この取扱説明書には、保証書がついています。取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたしますが、取扱店の記入がない場合は取扱店にご連絡ください。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は**取付けの日から2年間**です。

保証期間内でも有料にあることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

修理を依頼されるとき

《保証期間中は》

修理に関しては、保証書の規定に従って修理させていただきます。

《保証期間が過ぎているときは》

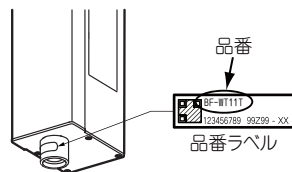
修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》

“技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

《ご連絡していただきたい内容》

- 1.ご住所、ご氏名、電話番号
- 2.商品名
- 3.品番(商品に表示、右図参照)
- 4.ご購入日
- 5.故障内容、異常の状況
- 6.訪問ご希望日



部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品(商品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後最低10年間保有しています。**この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。**保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ご相談ください。

アフターサービス等についておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》お求めの取扱店または

LIXIL修理受付センターまで (ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>)

TEL ☎0120-179-411 受付時間9:00~19:00 **365日受付**

FAX ☎0120-179-456

《使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは》

お客さま相談センターまで

TEL ☎0120-179-400

FAX ☎0120-179-430

受付時間 平日 9:00~18:00

土日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。

右記番号をご利用ください。TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

※品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名:シャワーパネル アクアタワー		(品番:)
保証期間	取付日より2ヶ年	取付日 年 月 日
お客さま	おなまえ	取扱店名
	おところ	
	おでんわ () - TEL () -	
お客さまへ ・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。 ・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。		

無料修理規定(保証規定)

- [取扱説明書]・[ラベル]などの注意事項に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。(免責事項)
 - 用途以外(車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等)に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
 - 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事起因する不具合
 - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
 - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - 経年変化使用に伴う外観上の現象(塗装の色あせ、もらい錆等)または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス)に起因する不具合
 - 小動物(犬、猫、ねずみ、昆虫等)の行為または蔓(つる)や根などの植物の害に起因する不具合
 - 天災地変(火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等)に起因する不具合による故障及び損傷
 - 戦争・暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
 - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
 - 消耗品(浄水カートリッジ、パッキン、ヒューズ、電池等)類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
 - 温泉泉、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水质基準に適合しない水を給水したことに起因する故障及び損傷不具合
 - 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
 - ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境(異常ガス圧、異常電圧・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等)に起因する故障及び損傷などの不具合
 - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
 - 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10ヶ年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00~18:00

土日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。
TEL 0562-40-4050
FAX 0562-40-4053

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

受付時間 9:00~19:00 (365日受付)

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/>

GMS-1976 (21021)